

ICT教育の推進

学校では、これからの時代において、子供達が自ら課題を発見し、情報を収集・活用しながら課題解決に向け主体的に行動できる力を付けていきたいと考え、ICT教育の推進に取り組んでいます。

今年度からは、一人一台のタブレットが貸与され、学びの可能性が広がろうとしています。これまでは、教科書、黒板、チョークといったどちらかという教師主導の指導方法が多く見られましたが、タブレットを使うことで、プレゼンテーションの資料を自分で作ったり、友達の考えをすぐに知ったり共有したりすることで対話の広がりや深まりが見えたりと、探究型の授業の可能性が広がっていきます。教職員も、ワクワクしながら準備を進めているところです。

今、学校では、タブレットの有効活用に向け、タブレットを児童が使えるようにパスコードを入力したり、児童に入力させたりしながら準備を進めています。また、教職員も研修を重ね、タブレット活用の可能性を探っています。4月の参観日には、タブレット使用に係る授業を見ていただく予定です。

今後、準備や練習が整ってくれば、タブレットを各家庭に持ち帰るようになります。併せて、情報モラル教育も行っていかななくてはなりません。ご家庭においても、趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

